

国語科学習指導案

授業者：長良高等学校 金子萌

- 1 科目名：古典B（漢文）
- 2 単元名／教材名：「項羽と劉邦」「鴻門の会」『史記』
- 3 対象者：2年生
- 4 単元の内容

単元
の
目
標
と
評
価
規
準
・
評
価
方
法

①単元の目標

- ア 作品に関心を持ち、登場人物の行動内容を意欲的に読み進めようとしている。
(関心・意欲・態度)
- イ 複数のテキストや場面のつながりを踏まえながら作品を読み、読解内容を言語化する。
(読む能力・書く能力)
- ウ 漢文を読むための基本的知識・作品の歴史的背景を理解する。(知識・理解)

②単元の目標設定の理由

・これまでの漢文学習においては、故事成語を題材としながら、基礎的・基本的な知識・技能の習得に取り組んできた。学習者は、学んだことを自分の言葉でアウトプットすることへの苦手意識は少なく、音読やペアワークにも意欲的に取り組んでいる。本教材は、漢文学習において初めて扱う史伝である。全編が劇的要素に満ちているため、事件の流れや登場人物の行動を視覚的資料にまとめたり、動作化したりと、様々な表現方法で作品世界の理解を問うことができる教材である。これまでは、一つの文章を深く読み味わうことを中心としてきたため、複数のテキストや歴史的背景を重ねて読むことは十分でなかった。そこで本単元では、該当テキストの一連の流れや教科書未採録のテキストを関連づけながら読むことで、多角的に作品を読解することを目標とする。訓詁注釈に終始せず、作品の言語表現を主体的に吟味・評価できるよう学習課題を設定し、表現活動を行う。

③中心となる学習活動

・文章中の言語表現をMetaMoJi内で図解化する。・表現を解釈し、文章化する。

④言語活動の工夫

・作品そのものの読解や、句法・語句などの基礎事項の習得については、MetaMoJi上での作業・ペアワークを取り入れて、他者と協働しながら学んでいけるようにする。終末時には「学習記録」に自分の考えを記述し、自身の思考内容を個々で表現することで、自己の読みを形成させる。

⑤評価

	評価規準	評価方法	状況Cの生徒への対応
関心 ・ 意欲 ・ 態度	①作品に関心を持ち、意欲的に読み進めている。 ②ワークシートやMetaMoJi内に自己の考えを表現しようとしている。	観察 (机間指導) (発言) 点検 (ワークシート ・MetaMoJi)	・発言や記述がない生徒には、個別に声かけをし、考えるヒントを提示する。
読む ・ 書く 能力	①作品の言葉に着目し、読解内容を表現している。 ②作品解釈を本文の叙述に基づいて記述している。	観察 (机間指導) (発言) (発表) 点検 (ワークシート ・MetaMoJi)	・他者の記述内容を示して、考える材料とさせる。 ・書き出しの例を提示する。
知識 ・ 理解	①漢文読解のための基本的な語法。句法の意味を理解している。	観察 (音読) 点検 (プリント)	・MetaMoJiで知識確認のためのシートを配信し、意味や内容の理解を補助する。

5 単元の学習概要

時間	教材	主な学習活動の流れ
1	「項羽と劉邦」 (一)	○作品に関する基礎知識を習得し、項羽の人物像を大まかにとらえる。 ・項羽の若い時のエピソードを読み取る。 ・項羽が始皇帝を見た時の反応はどのようなであったかを記述する。 ・学習記録課題「司馬遷は項羽をどんな人物として描いているか？」
2	「項羽と劉邦」 (二)	○劉邦の人物像を大まかにとらえる。 ・劉邦をMetaMoJi内でイラストにする。 ・劉邦の人柄、仕事に関するエピソードを読み取る。 ・学習記録課題「司馬遷の描く項羽と劉邦の違いとは何か？」
3	「項羽と劉邦」 (二)	○項羽と劉邦の人物像の違いをとらえ、自分の考えをもつ。 ・劉邦の身に起きている不思議な現象を読み取る。 ・始皇帝を見た時の項羽と劉邦の相違点を記述する。 ・学習記録課題「項羽と劉邦のどちらをリーダーとして支持するか？」
4	「鴻門の会」 (一)	○劉邦の謝罪の言葉の内容を読み取り、評価する。 ・リード文から、歴史的背景を理解する。 ・劉邦の発言そのものを理解した上で、その発言に込められている意図を推論する。 ・学習記録課題「劉邦の謝罪の言葉の評価できる点・できない点は何か？」
5	「鴻門の会」 (一)	○劉邦の謝罪に対する項羽の対応の様子を読み取り、行動の理由を推論する。 ・項王の主張（発言）内容、劉邦の発言とのつながりを読み取る。 ・「飲」の場面、范増が項王に合図をする場面をMetaMoJi内で図解化する。 ・学習記録課題「項羽は劉邦の謝罪をどのように受け入れたのか？」
6	「鴻門の会」 (一)	○范増、項莊、項伯の動きを把握し、それぞれの人物像を読み取る。 ・范増の発言内容をMetaMoJi内でまとめる。 ・人物の行動内容を読み取り、挿絵に人物名を書き込む。 ・学習記録課題「サブキャラクターはどんな人物か？」
7	「鴻門の会」 (二)	○樊噲に関する叙述を読み、人物像を読み取る。 ・樊噲と張良の発言内容を具体化し、会の緊迫した状況を読み取る。 ・樊噲登場の場面をMetaMoJi内で図式化する。 ・学習記録課題「樊噲はどのような人物として設定されているか？」
8	「鴻門の会」 (二)	○樊噲と項羽の人物像を明確にする叙述内容をとらえる。 ・項羽と樊噲の対面時における両者の行動内容をMetaMoJi内で図式化する。 ・項羽と樊噲の発言内容を読み取り、樊噲の人物像を推論する。 ・学習記録課題「樊噲が飲食をする場面の効果とは何か？」
9	「鴻門の会」 (二)	○樊噲の発言内容を把握し、他の場面とのつながりを推論する。 ・「項羽大いに怒る」を読み、項羽の怒りの理由を読み取る。 ・樊噲の発言内容が、この場面において効果を発揮する理由を推論する。 ・学習記録課題「樊噲はこの発言で何を伝えようとしているのか？」
10	【本時】 「鴻門の会」 (二)	○樊噲の発言内容の意図を把握し、評価する。 ・樊噲の発言そのものを理解し、「項羽大いに怒る」との関連を推論する。 ・樊噲の発言の表現、構成、内容を吟味し、評価する。 ・学習記録課題「樊噲の発言をあなたはどのように評価するか？」
11	「鴻門の会」 (二)	○物語の結末を把握し、作品全体を評価する。 ・樊噲の発言後の項王の様子を読み取り、その場の状況を推論する。 ・物語の結末、人物の行動理由から、作品全体に対する自分の考えをもつ。 ・学習記録課題「なぜ、『項王未以応』であったのか？」

6 本時の学習指導案

本時の位置	10時間目（全11時間）		
本時の学習目標	ア 漢文を読むための基本的知識を活用しようとしている。 （関心・意欲・態度） イ 複数テキストを組み合わせて読み、樊噲の発言内容の意図を複数の観点に基づいて推論しようとしている。 （読む能力・書く能力）		
事前の準備	① MetaMoJi内に、基本的知識の理解を補助するシートを提示する。 ② MetaMoJiで共有のためのワークシートを提示する。		
	学習内容	学習活動	指導上の留意点及び評価
導入 5分	<input type="checkbox"/> 本時の学習内容と目標の確認	①前時の学習内容から、樊噲の発言を想起する。	<ul style="list-style-type: none"> 樊噲の発言を4つのパートに区切っておく。 樊噲の発言を評価することを共通目標とする。 「項羽大いに怒る」をMetaMoJi内に再掲する。 前時に学習した樊噲の主張A、主張Bの考察シートをMetaMoJi内に配布する。
展開 35分	<input type="checkbox"/> 音読	②樊噲の発言内容を繰り返し音読する。	<ul style="list-style-type: none"> 難読漢字には振り仮名をあらかじめ付しておく。 「読み重要語漢字」は色分けして示しておく。
	<input type="checkbox"/> 内容把握	③樊噲の発言内容をMetaMoJi内にまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> 読解を補助する基本句法、重要語句のシートを配布する。 現代語訳にこだわらず、大まかな内容をとらえられるよう、MetaMoJi内のシートに本文を図解化する。 学習者のシートを示し、全体で共有する。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標Aに対する評価規準と評価方法</p> <p>〔規準〕 漢文を読むために、基本的知識を活用しようとしている。</p> <p>〔方法〕 観察（机間指導） 点検（ワークシート・MetaMoJi）</p> <p>〔状況Cの生徒への手立て〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 着目すべき言葉や活用する句法を指し示し、MetaMoJi内に書き込みをするよう促す。 </div> <ul style="list-style-type: none"> 樊噲の発言を観点別【内容】【順序】【表現】に5段階で評価する。 「作品内の叙述」を評価の根拠にすることを伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>目標イに対する評価規準と評価方法</p> <p>〔規準〕 複数テキストを用いて、樊噲の発言を評価している。</p> <p>〔方法〕 観察（机間指導）・点検（学習記録）</p> <p>〔状況Cの生徒への手立て〕</p> <ul style="list-style-type: none"> なぜこの評価になるのかを個別に問い、どこからそう考えたかを記述するよう促す。 書き出しやすいように、他の生徒のシートを示す。 </div>
まとめ 10分	<input type="checkbox"/> 学習記録の記述	⑤樊噲の発言へのコメント評価を記述する。	<ul style="list-style-type: none"> 自由な発想を許容しながら、複数テキストや他場面のつながりに着目できるよう言葉かけをする。